



あなたの「はあと」が地域のチカラに変わる情報マガジン

2019.09-10
Vol.409
TAKE FREE
ご自由にお持ちください

Volunteer ボランティア

ボランティア活動参加の
チャンスは目の前に！

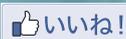
ちよボラしてみる？
1000人のボランティアが支える
第17回ふれあい福祉まつりボランティア説明会 ▶ p.2

Join us!

- ショートステイで趣味を活かす ▶ p.4
- ボランティア通訳ガイド募集 ▶ p.4
- 毎月最終火曜日の夜は「ちょっとだけ」あなたの出番 ▶ p.4
- 患者さんに温かいサポートを ▶ p.5
- あなたの「できる」で子どもたちと楽しく ▶ p.5
- おもてなしボランティア養成講座 ▶ p.6

ホットニュース ▶ p.7
若きボラセンスタッフが訪れたのは…

 ちよだボランティアセンター
公式フェイスブック公開中

 いいね! 818名 (2019.8現在)



ボランティア記者レポート ▶ p.8
認知症ケア研修
「認知症とともに生きる」に参加

ちよボラしてみる? ふれあい福祉まつり「ちよボラ」インタビュー 鈴木星南さん

たくさんの人に知ってほしい、そして、ボランティア活動に参加するチャンスです!

『2019 ミス・インターナショナル日本代表』のファイナリストで、現在モデル、ダイバーシティタレントとしてマルチに活躍中の鈴木星南さん。大学1年生のとき、難病といわれる1型糖尿病を発症。ハンディキャップをもつ人々への理解を増やすため、ミス・インターナショナル日本に出場したそうです。病気のこと、ボランティア活動に対する想いなど... お話を聞いてきました。

ミス・インターナショナル日本に出場しようと思ったきっかけは?

私は18歳の時に1型糖尿病を発症し、一患者として経験したこと、そしてその半年後海外生活を経て得た日本の素晴らしさ、そして大きな課題を実感しました。病気を発症した当時、周りの目を気にして生活をしていました。普通ではないと思われたくなかったからです。しかしそれは違うと海外生活を通して気づきました。恥じるのではなく、私自身の個性であると。それは1型糖尿病だけではありません。一人一人、自分が好きな自分でいられること。それは多様性に対する理解を深めていくことにも大きく繋がると思いました。一患者として、また、日本を愛し世界を見てきた私だからこそ発信できることは多くあると考えミス・インターナショナル日本大会へ応募しました。



活動を通して伝えたいこと

私は1型糖尿病を発症したことで、生きていく上での人生の考え方が大きく変わりました。もちろん苦勞することも多くありましたが、それよりもっと多くの人に1型糖尿病を知ってもらいたい、ハンディキャップを持っている方々がそれを個性として受け入れられる、より輝ける社会を作ること全力でサポートして行きたいと思っています。

1型糖尿病とはどんな病気ですか

糖尿病には一般に大きく2つに分けられます。世間一般に多く見られ、よく知られている糖尿病は「2型糖尿病」、一方で主に自己免疫疾患によっておこる「1型糖尿病」の2種類です。1型糖尿病は生活習慣病でも、先天性の病気でもありません。日本での発症率は10万人に1~2人といわれ、国内の糖尿病患者の9割以上を占める2型糖尿病と異なり、1型糖尿病は毎日のインスリン補充が必要不可欠な病気です。

1型糖尿病とわかったとき、どんな気持ちでしたか

病院で「1型糖尿病です」と言われた時、はじめてこの病気のことを知りました。治る病気と思っていたので、毎日数回の注射又はポンプのインスリンの補充を生涯共にしていかなければならないと言われたときは衝撃でした。しかし、1型糖尿病で活躍している阪神タイガースの岩田隼さんや元エアロビク競技日本代表の大村詠一さんの本を読み、「1型糖尿病でも自分のやりたいことはできる」と勇気づけられました。

1型糖尿病はどんなことが大変ですか

1型糖尿病は一見、病気のように見えま

せんが、インスリンの補充をしないと数日で死に至る病気です。最初は、本当に親しい友人にしか言えませんでした。今では堂々とインスリン注射を打ちますが、発症当時はとにかく人目が気になり隠していました。

ですが、私は1型糖尿病になってよかったと今は強く思っています。病気を発症したことで今まで以上に新しい事にチャレンジするようになりました。何より自分の長所であり、皆が経験出来ないことを経験出来ていることが今の私の強みだと思っています。

1型糖尿病の患者を支援する取組みは何かされていますか

認定特定非営利活動法人 日本 IDDM ネットワーク (<https://japan-idm.net/>) と一緒に PR 活動をしています。今年は、大阪マラソンにチャリティランナーとしてチャレンジします。私が走ることで、皆さんの何か一歩踏み出すきっかけになりたいと強く思い今回参加させていただきます。

ボランティア活動の経験があると伺いましたが

平成23年3月11日東日本大震災が発生した当時、私は中学3年生でした。私に少しでも地震の被害にあわれた地域の人達の役に立てることはないか、何かできることはないかと思いつけてきました。

その後、大学へ進学してすぐに大学のボランティアサークルである宮城県気仙沼市を中心とする東北地域復興支援団体に所属しました。

地震の被害にあわれた地域の人たちに寄り添う活動を目的に、小学生へ英語を教える学習活動、漁業支援、清掃活動を行っていました。

ボランティア活動への参加のきっかけは、消防士の父の背中を見て育った影響があるのかもしれませんが。

実際にボランティアをしてみても率直にどう思いましたか

実際に地震の被害にあわれた地域へ自分の目で見て肌で感じたことは、メディアを通してではわからないことだらけでした。現代ではとても便利な SNS などの情報源が多くありますが、実際に自分の目で見て、肌で感じることは何よりの経験になると思います。

これからボランティア活動をする人へのメッセージをお願いします。

高校時代にボランティアに参加したい気持ちはありましたが、機会がありませんでした。しかし、目の前にチャンスはたくさんあります。そのチャンスを皆さんに是非つかんで頂きたいです。

“Be who you are and no one else” 誰かみたいになろうなんて思わなくていい、自分らしくいればいい、私の大好きな言葉です。私にしか発信できないことを、これからも発信し続けていきたいと思っています。



福祉まつりを一緒につくりましょう



3,000人以上の方が参加します!

初めての方でも参加しやすい「ふれあい福祉まつり」の活動をご紹介します。まずは何が出来るのかを知るために、説明会にいらしてください!



参加費
無料

ちよボラしてみる?

第17回ふれあい福祉まつり
ボランティア事前説明会

- 日時: 9月3日(火) 18時30分~20時30分
9月7日(土) 13時00分~15時00分
※どちらかにご参加下さい
- 内容: ふれあい福祉まつり活動内容紹介
おもてなしの心でボランティア講座
車いす・アイマスク体験
- 場所: かがやきプラザ4階 会議室
(千代田区九段南1-6-10)
- 対象: ボランティア活動を検討中の方ならどなたでも
説明会に参加できないけれど、おもてなしボランティアに興味がある方はちよだボランティアセンターまでご相談ください。

申込・問合せ先: ちよだボランティアセンター
TEL: 03-6265-6522 FAX: 03-3265-1902
E-mail: volunteer@chiyoda-cosw.or.jp

こんなボランティアがあります。

ステージ運営補助飲食ブースのお手伝い・着ぐるみ・参加者のご案内(コンシェルジュ)等



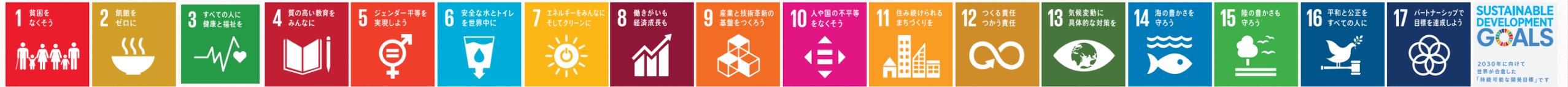
昨年の福祉まつりで「ちよボラ」に参加した方の声

- 普段関わることのできないボランティアさんやお客様など、年齢・性別を越えた方々と交流できました。
- 想像以上に多くの方が来場されていて驚きました。地域を盛り上げるお祭りに参加できて光栄です。
- 個人で参加したが、一緒に活動した方が気さくで楽しくボランティア活動ができました。



昨年の様子をご覧いただけます。→

SDGsのアイコンについて



「ボランティア」「講座・イベント」「助成金」の情報ページでは、SDGs（「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」）

の17のアイコンで活動内容を表示します。「誰一人取り残さない」社会を目指す世界の共通目標（国連加盟193か国が2030年までに

達成する目標）を千代田の地域づくりにも生かし、みなさんと「ともにできること」の輪を広げていきます。

11 住み続けられるまちづくりを
フォーユーショートステイ淡路
ショートステイ淡路で、
趣味を活かしてみませんか？

フォーユーショートステイ淡路では、趣味のお披露目（ダンス、音楽演奏、手品、工作、ガーデニングなど）や、お相手などをしていただけるボランティアを募集しています。こんな活動はどうですか？ など、お気軽にお問合せください！

日 時 平日・日曜祝祭日ともに可（日程をご相談ください）
14:00～15:00頃
場 所 フォーユーショートステイ淡路（千代田区神田淡路町2-109）
募集人数 少数、多数問いません。随時募集しています。
問 合 せ
フォーユーショートステイ淡路 担当：島村、篠原
TEL：03-5298-6028 FAX：03-6298-6029
E-mail：Awaji-ss@foryou.or.jp
URL：http://awajicho.foryou.or.jp/work.php?wid=w066

10 人や国の不平等をなくそう
東京フリーウォーキングツアー オリエンテーション開催ご案内
ボランティア
通訳ガイド募集！



Tokyo Free Walking Tour は、皇居東御苑周辺などを観光する外国人観光客等に英語でご案内しているボランティア通訳ガイド団体です。活動参加希望の方は、まずはオリエンテーションにご参加ください。
※ 入会希望者はオリエンテーション終了後、3,000円（入会金1,000円、年会費2,000円）が必要です。
※ オリエンテーション以外での入会は受け付けておりません。

日 時 11月10日（日） 13:30～17:00（予定）
場 所 JICA 地球ひろば会議室600（新宿区市谷本村町10-5 6階）
内 容 皇居東御苑をはじめ、浅草、明治神宮・原宿、上野公園等における外国人観光客に対する英語のご案内
申込期間 9月1日～11月1日※先着順 **定 員** 90名程度
問 合 せ
東京フリーウォーキングツアー
E-mail：info@tfwt.jp URL：https://tfwt.jp/

11 住み続けられるまちづくりを
いずみこどもプラザ
あなたの「できる」で
子どもたちと楽しい時間を過ごしませんか？

○幼児への本の読み聞かせなど（得意なことを活かせます！）
○小学生の見守り、指導
○指導員補助や行事への参加
上記のような活動をしていただける、子どもが好きで、健康で、明るく児童と接することができる方を募集しています。

日 時 月曜日～土曜日 9:00～17:00
場 所 いずみこどもプラザ 他
（千代田区神田和泉町1ちよだパークサイドプラザ6階）
募集人数 若干名
問 合 せ
いずみこどもプラザ 担当：清水
TEL：03-3865-1461
E-mail：izumikodomo-p@bridge.ocn.ne.jp

3 すべての人に健康と福祉を
切手くんからのお知らせ
交流をしながら人助け♪
切手整理サロンに参加しませんか？

「ボランティアって気持ちいい」っていうけれど、何から始めていいかわからない。そんなあなたに！はさみ一本からできるボランティアはどうでしょう？美術が好きの方、とにかく何かをしたい方、皆さん大歓迎。整理された切手は換金して、住民による区内高齢者の見守りや交流活動等（ご近所福祉活動）に活用します。使用済切手も集めています。1枚からお気軽にどうぞ。



日 時 毎月第3土曜日 10:00～15:00（入退場自由）
場 所 かがやきプラザ4階 かがやきボランティアサロン
（千代田区九段南1-6-10）
問 合 せ
ちよだボランティアセンター
TEL：03-6265-6522 FAX：03-3265-1902
E-mail：volunteer@chiyoda-cosw.or.jp
URL：http://www.chiyoda-vc.com/volunteer/1025

17 パートナシップで目標を達成しよう
千代田区立障害者福祉センターえみふる
コミュニティパートナー/スマイルちよだ
（日中一時サポーター）大募集

「えみふる」では、平日の夕方や年間を通してイベント等の手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。

① コミュニティパートナー
日 時 平日・土日の9:00～21:00
内 容 外出、余暇支援、講習会やイベントのサポートなど
注 意 時間帯や曜日によりボランティアの内容が変わります。詳しくはお問い合わせください。
② スマイルちよだ
日 時 平日の16:30～18:00
内 容 障がいのある方と、余暇活動と一緒に楽しんでもいただけます！
場 所 障害者福祉センターえみふる 5階（千代田区神田駿河台2-5）
問 合 せ
障害者福祉センターえみふる
TEL：03-3291-0600 FAX：03-3291-0608
E-mail：emifuru@chime.ocn.ne.jp URL：https://emifuru.com/

11 住み続けられるまちづくりを
いきいきプラザ一番町 コンサート観客サポートボランティア
毎月最終火曜日の夜は、
“ちょっとだけ”あなたの出番です。

いきいきプラザ一番町では、毎月最終火曜の夜に「いきいきコンサート」を開催しています。いきいきコンサートには、地域の方やいきいきプラザ一番町にある一番町特別養護老人ホームを利用されている方も参加されます。多くの方に楽しいひと時を過ごしていただくように、エレベーターでの移動時に、見守り・送迎して下さるボランティアを募集しています。就業後など、ご帰宅の前にちょっとお力添えいただけると幸いです。

日 時 毎月最終火曜日 18:30～21:00くらいまで
場 所 いきいきプラザ一番町 地下1階カスケードホール
（千代田区一番町12）
内 容 コンサート鑑賞の際の見守り・送迎
問 合 せ
一番町いきいきプラザ 担当：入谷（いりたに）
TEL：03-3265-6131 URL：https://www.ikiikiplaza-eiwa.jp/



3 すべての人に健康と福祉を
東京通信病院
あなたの優しい気持ちをいかして、
患者さんに温かいサポートを！

「地域に根差した病院」をめざす東京通信病院では、患者さんと病院スタッフとの距離を縮めるパイプ役としてボランティアの皆様のご協力をお願いしています。

日 時 毎週月曜日～金曜日の8:30～ ※定期的に活動できる方（月2～4回、1回3時間程度。詳しくはご相談ください）
場 所 東京通信病院内（千代田区富士見2-14-23）
内 容 ①患者さんの受付・会計や診察室・検査室などのご案内 ②車いすの患者さん・ご高齢者さまの補助 ③患者さんのお話相手、簡単な身の回りのお世話など。
募集人数 10名程度
問 合 せ
東京通信病院 看護部 担当：田中 重穂（看護部担当課長）
TEL：03-5214-7796 FAX：03-5214-7395
E-mail：kango@tth-japanpost.jp

17 パートナシップで目標を達成しよう
ちよだボランティアセンター
あなたの「できる」が地域のチカラに！
ボランティアセンターにご相談ください

街の様々な人が生活し続けるのに必要な、地域の人々の協力。地域での「チョット困った」に手を貸していただけませんか。

◆ボランティア登録～活動の流れ（概要）

1. ちよだボランティアセンターに在所して活動できる時間や「できる」こと、やりたいことなどをセンターのスタッフと相談
2. ボランティア登録
3. ボランティアセンターに寄せられた相談に対応して、センタースタッフより活動相談の連絡が届く
4. お互いの合意が得られれば活動開始です！
※センタースタッフがサポートします

問 合 せ
ちよだボランティアセンター
TEL：03-6265-6522 FAX：03-3265-1902
E-mail：volunteer@chiyoda-cosw.or.jp

17 パートナシップで目標を達成しよう
はじめて
ボランティアを
する方へ

①活動先が決ったら事前確認をしましょう！
受け入れ先が活動内容や注意点を説明しますので、安心してご参加ください。また、ご自身でも参加条件や費用などを事前にご確認ください。直接連絡しにくい事や心配な事は、当センターにお気軽にご相談ください。

②ボランティア保険に入りましょう！
「ボランティア保険」は活動中の事故に備える心強い存在。当センター窓口、または最寄りの区市町村にある社協・ボランティアセンターで加入手続きができます。
※加入手続きの場所に関係なく、日本国内での活動が保険対象です。（年度更新が必要）

ボランティア保険概要

補償内容	傷害保険（ボランティア自身のケガ） 賠償責任保険（対象者の身体や財物等の損害）	保 険 料	300円～1,400円 （6つのプランにより異なる）
補償期間	4月1日～翌年3月31日まで ※途中加入の場合：加入手続き日の翌日から適用		



2020年はもうすぐそこに!
おもてなしボランティア養成講座

おもてなしボランティア養成講座では、「サービス介助士」の資格取得を目指します。サービス介助士とは、高齢な方やお身体の不自由な方が安心して社会参加できるよう、迎える側が様々な人を受け入れるために必要な技術と知識が身につく資格で、福祉職や接客業で高い評価を得ています。「おもてなしボランティアちよだ」略して「おもちよ」メンバーになって2020年に向けて習得した技術を活かしたボランティアをしてみませんか。「おもてなしの心」はあなたの行動次第でとっても奥行きのある言葉になるかもしれません。



- 日時** ①実技講習・検定試験(※自宅での事前学習・課題提出後) 高齢者疑似体験や車いすの操作、介助方法、視覚・聴覚障がい者等の理解について学び、2日目最終日に検定試験を行います。
2020年2月22日(土)、23日(日) 9:30～17:00
②ゲスト講演・ボランティアグループ「おもちよ」活動紹介
2020年2月29日(土) 10:00～12:00
※3日間通しての参加です。
- 会場** かがやきプラザ4階 会議室
- 締切** 令和元年11月25日(月) 必着

- 対象** 区内在住もしくは在勤の方で、講座終了後グループ活動に参加できる方
- 定員** 20名(応募多数の場合は抽選);
- 参加費** 20,000円(テキスト代、検定料など)
※千代田区社会福祉協議会が半額を助成した上での参加費です。
- 申込・問合せ先**
ちよだボランティアセンター
TEL: 03-6265-6522 FAX: 03-3265-1902
E-mail: volunteer@chiyoda-cosw.or.jp



プラチナ世代向け「傾聴講座」
笑顔を引き出す聴き上手になる!

充実したコミュニケーションの第一歩は、お互いが何を思い、何を伝えようとしているかに耳を傾け、相手を理解しようとするところから始まります。人と人とのつながりが見直される今、「傾聴」について学び日々の暮らしやボランティア活動に役立ててみませんか?



- 日時** 9月20日(金) 13:30～15:30
- 会場** かがやきプラザ4階 研修室(千代田区九段南1-6-10)
- 対象** 区内在住の65歳以上の方
- 定員** 20名(先着順) 定員になり次第締め切りとさせていただきます。①お名前・②年齢・③住所・④電話番号をご記入の上、電話、FAX、メールでお申込みください
- 参加費** 無料
- 申込・問合せ先**
ちよだボランティアセンター
TEL: 03-6265-6522 FAX: 03-3265-1902
E-mail: volunteer@chiyoda-cosw.or.jp



ヘルマンハーブ 演奏&体験イベント
五線譜が読めなくても大丈夫♪
ヘルマンハーブの魅力体験

ダウン症の子供のために、ドイツ人のヘルマン・フェー氏が開発した弦楽器。美しい癒しの音色とともに楽器に込めた想いをはせるイベントです。



- 日時** 9月14日(土) 13:30～15:00
- 会場** かがやきプラザ1階 ひだまりホール(千代田区九段南1-6-10)
- 内容** ●お話と演奏 ヘルマンハーブってどんな楽器? ~その生い立ちを演奏にのせて~
日本ヘルマンハーブ振興会会長 梶原千沙都さん
●ヘルマンハーブ演奏・体験会 ~ヘルマンハーブちよだ、ヘルマンハーブ琴和~
- 対象** 区内在住・在勤・在学どなたでも
- 定員** 40名(申込順) **参加費** 無料
- 申込・問合せ先**
かがやきプラザ研修センター
TEL: 03-6265-6560 FAX: 03-3265-1162
E-mail: jinzai@chiyoda-cosw.or.jp
URL: https://www.chiyoda-cosw.or.jp/kensyu-c



公益財団法人 大和証券福祉財団
大和証券福祉財団 令和元年度(第26回)ボランティア活動助成募集

- 対象団体**: ボランティア活動を行っているメンバーが5名以上で、かつ営利を目的としない団体(設立して間もない団体による応募は、今回、申請の活動予定が決まっている団体に限る)。
- 対象事業**: 1. 高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動
2. 地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動
- 助成金額**: 1団体あたり 上限30万円
- 応募期間**: 9月15日(日)まで(消印有効)
- 詳細情報**: <http://www.daiwa-grp.jp/dsf/index.html>



「おもちよ」がキャベツマラソンでボランティア活動

6月29日(土)・30日(日)群馬県嬭恋村で開催された第12回嬭恋高原キャベツマラソンに、ちよだボランティアセンター登録グループ「おもてなしちよだ(通称:おもちよ)」のメンバー11名が参加してきました。

大会前日 の29日、霧が立ち込める中、嬭恋高原に到着するとスタッフの方から活動の説明を受けました。その後、ランナーのエントリー受付や、マラソン当日に参加者にお渡しする参加賞の準備です。以前にキャベツマラソンでボランティア活動経験があるメンバーが率先して、今年初めて参加した6名のメンバーを引っ張っていきます。



参加人数が多かったため、あっという間に感じた前日作業を終え、大会当日に備えて宿泊地に戻りました。

大会当日。午前3時30分起床。4時には会場に着します。雨が降るなか、当日の準備を黙々と行うおもちよメンバー。大会のスタート時間が近づき、雨は激しさを増して寒さがメンバーを襲いますが、笑顔でランナーに「頑張ってください!」とエールをおくります。他のボランティアで参加していた方よりも声が出ていたような気がします。



おもちよの活動の一つの目標である「東京オリンピック・パラリンピック」まで1年を切りました。今年で6回目の参加となるキャベツマラソンの経験を糧に、おもちよの活動はこれからも続きます。

ホッとニュース

日頃の心あたたまる出来事をお伝えします!

若きボラセンスタッフが訪れたのは…

先日、職場体験で区内中学校の2人の生徒さんが、ちよだボランティアセンターにやってきました。今回2人が担当したボランティアセンターの「お仕事」、それはボランティアとして活躍する方々へのインタビュー取材でした。
中 学生記者の2人が訪れたのは、ボランティア活動



に取り組む「株式会社日陸」のオフィス。最初は少し緊張した様子の2人でしたが、楽しみながら地域でのボランティア活動に取り組む社員の皆さんの取り組みを聞くことができ、多くの学びと発見があったようです。取材を終えた2人の表情は頼もしく、そして少し大きくなったように感じました。「まずは自分がボランティアを楽しんで周りの人に伝えてね」という社員の皆さんと、「緊張したけどボランティアに興味を持ちました」という中学生記者の2人。ボランティアが紡ぐあったかい交流にホッとしました。
2人が作成した記事は <http://www.chiyoda-vc.com/vlog/28259> をご覧ください。

ボランティア記者レポート 認知症ケア研修「認知症とともに生きる」に参加した

丹野智文(たんの・ともふみ)さん。妻と二人の娘に恵まれたクルマのトップセールスマンは39歳で若年性アルツハイマー病と診断されました。それから6年、『認知症とともに生きる』とのタイトルで丹野さんの講演会が九段下のががやきプラザであると知り、早速行ってきました。



定刻きっかり黒のパンツに七分袖のゆったりしたグレーのTシャツというラフな姿で現われた丹野さん。用意した原稿を読み上げます。あれ!? 少し舌がもつれるものまったく普通の人と変わらないじゃないですか。ホントに認知症なの? でもお話を聞くうち認知症の深刻さが伝わってきました。物忘れが著しい、さらには人(お客さん、スタッフ)の顔を忘れる、単語を忘れる。仕事に支障が出てきます。でも、会社の社長やスタッフたち、家族の理解と協力、そして「家族の会」との出会いによって仕事を続けることができるようになったそうです。



そんな丹野さんの言葉をいくつかご紹介しましょう。「認知症は恥ずか

しい病気ではない。一人で悩まず助けてと声を上げる。そのために認知症を受け入れられる環境が必要! 「本人のためになにができるのかではなく、ともになにができるのか考えてほしい」静かに語りつづけます。「中途半端なサポートならしないほうがよい。山登りをしたいと言ったなら近所の丘に登るのではなく本格的な登山をすべきだ」「できることを奪わないで」「当事者の自立とはハッキリ意志を伝えること、頼めること」胸に響く言葉ばかりです。



ご本人に質問しました。
(Q)「丹野さんのその静かなエネルギーはどこからきているのですか」
(A)「認知症の不安を乗り越えた当事者と出会ったことで私自身も前向きになれました。私も笑顔で活動したい。目の前の人を私を見て笑顔になってくれればうれしいのです」。伝道師なんだ。丹野さんの笑顔の活動はまだまだつづくでしょう。

認知症の方をサポートするボランティア活動があります。ちよだボランティアセンターに問い合わせください。

今月の記者



西田 滋さん
知らないことに興味あり。
野次馬根性で出かけます。

ボランティアセンター 開室時間の変更について

2019年4月1日(月)より、ボランティアセンターの開室時間に変更になりました。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いたします。

<開室時間> 月曜日～土曜日 8:30～17:15
※日曜日・祝日・年末年始は休み

平成30年度、使用済み切手・書き損じはがき換金のご報告

使用済み切手および書き損じはがきの換金額は、102,251円でした。皆様のご協力ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。引き続き、ちよだボランティアセンターでは使用済み切手やはがきを集めています。集めた切手や書き損じはがきは業者で換金を行い、住民による区内高齢者の見守りや交流活動等(ご近所福祉活動)に活用させていただきます。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

ボランティア情報ステーション 設置場所(万世橋地区1)

- ECOM 駿河台 ● 新御茶ノ水駅前郵便局 ● ヘアサロン銀座マツナガ ● 日本損害保険協会 ● 区立神田保育園 ● 神尾記念病院 ● 芝信用金庫 ● 神田尾張屋 ● 文具の日乃出 ● 神田まつや ● 酒亭じゅらく神田店 ● ハロー ● 近江屋洋菓子店 ● 特定非営利活動法人 日本渚の美術協会 ● 神田郵便局 貯金課総務 ● かんだ連雀 ● 松竹庵 ● 万世橋出張所

ご協力ありがとうございます。一覧は、ボランティアセンターのホームページの「関連・協力団体のリンク」でご覧いただけます。

募集中!

新しく置いていただける場所を募集しています。詳しくは、下記連絡先へお問い合わせください。



発行 社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター
〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-10 ががやきプラザ 4 階
開室日・時間: 月～土曜日 8:30～17:15 (※日曜・祝日・年末年始はお休み)
TEL 03-6265-6522 FAX 03-3265-1902

URL <http://www.chiyoda-vc.com/> E-mail volunteer@chiyoda-cosw.or.jp

今回の表紙は 2019 ミス・インターナショナル日本大会・ファイナリストの鈴木星南(すずき・せいな)さんです。突如襲った1型糖尿病に対しての葛藤、それでも前に進もうとする強い意志を感じました! 当センターのホームページは、(株)大塚商会様の社会貢献活動の一環としてご提供いただいております。ボランティア情報マガジンは、「発送ボランティア」の皆さんのご協力です。送付作業を行っています。



ちよだボランティアセンターHP ▶